

1. プログラム概要

プログラム名	韓国短期語学留学 @大邱大学校(DU)
実施期間	2024 年 2 月 5 日 (月) から 23 日 (金) までの 3 週間
対象	韓国語や文化交流に興味がある学生
目的及び内容	韓国随一の広さを誇る協定校・大邱大学校にて、韓国語を学ぶ。また、韓国語学習以外に、主に大邱大学校日本語学科の学生などとも交流を行う。文化体験には、料理体験、課外活動（遠足など）を含み、語学運用力と異文化理解の醸成を図る。

2. プログラム成果報告は下段表参照（全参加者のスコア平均）

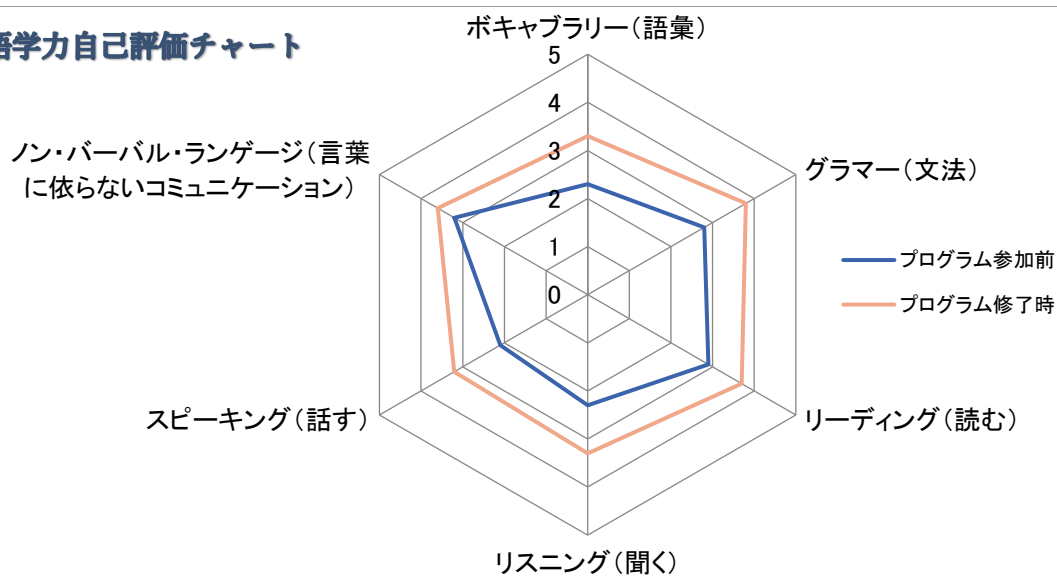
項目	要素	参加前	修了時
コミュニケーション力	ボキャブラリー（語彙）	2.3	3.3
	文法（文法）	2.8	3.8
	リーディング（読む）	2.9	3.7
	リスニング（聞く）	2.3	3.3
	スピーキング（話す）	2.1	3.2
	ノン・バーバル・ランゲージ（言葉に依らないコミュニケーション）	3.2	3.6
語学力合計点		15.6	20.9

異文化適応能力	洞察力	2.6	3.2
	傾聴力	2.8	3.7
	柔軟性	3.2	4.2
	受容性	3.0	3.4
	共感性	3.3	3.8
	持続力	2.3	3.0
異文化適応能力合計点		17.2	21.3

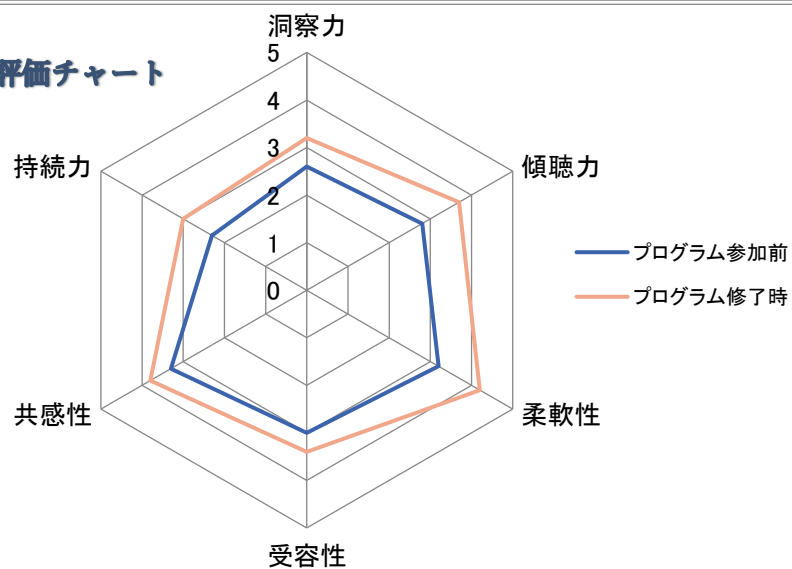
人間力	主体性・積極性	3.0	4.0
	チャレンジ精神	3.4	4.0
	発信力	2.3	3.0
	責任感・使命感	3.2	3.5
	協調性	3.6	3.7
	ストレスコントロール力	3.5	3.9
	規律性	2.7	3.7
人間力合計点		21.7	25.8

3. 自己評価チャート

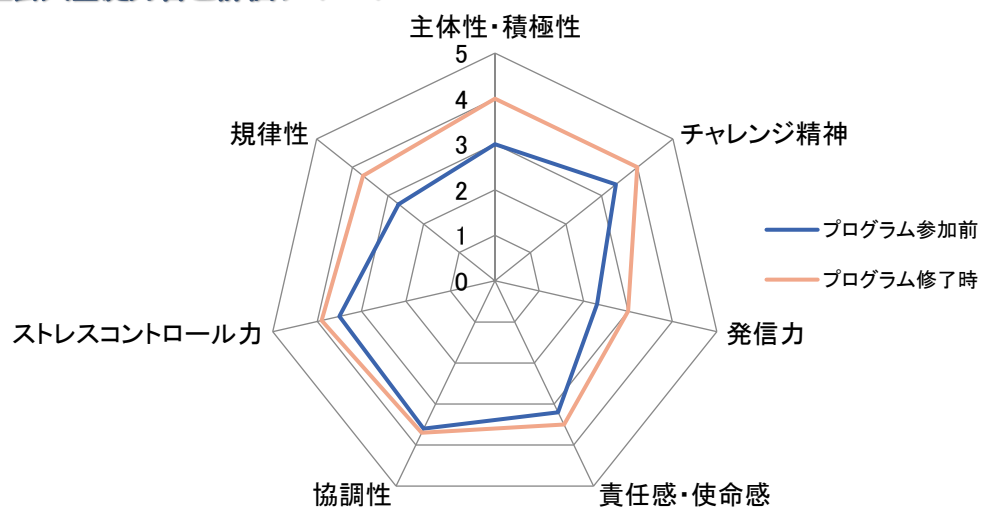
語学力自己評価チャート



異文化適応能力自己評価チャート



人間力、社会人基礎力自己評価チャート



4. プログラム報告書

1 特に専念した学習項目を教えてください。
●ハンガルの聞き取りで似た発音を聞き分けることを重点的に行った。 ●先生がスピーキングを重視で授業を進めてくださったので文法の使い方を理解して言葉に出した。
2 その成果について教えてください。
●ほとんどすでに知っている内容だったが、知らなかったことや曖昧なまま使っていることを学んだ。 ●自分が言いたい事をこれまでは文法が分からない事、組み立てれない事から伝えられなかったが韓国語で話せるようになった。 ●あいまいな基礎があったので正確に知ることができた。 ●最初のテストで点数が良くなかったが最後や途中のテストでは改善されていた。 ●スピーキングを多くやったおかげで韓国語を話すことが自然になり抵抗がなくなった。
3 現地大学や本学職員の対応はどうですか？
●とても親切で丁寧でよかった。 ●寮に日本人の職員さんがいてわからないことは教えてくださった。カカオトークでも連絡ができたので不便はなかった。部屋の電気がつかなかった時も連絡したら次の日に直してくれた。 ●大学職員の対応はとてもよかった。質問はすぐ解決してくれたし、先生も丁寧に教えてくれていた。
4 大学・学校生活中、トラブルはありましたか？それをどのように解決したか教えてください。
●1人で生活するわけではないので時間が経つにつれてお互いに不満が増えてくることがあったが、注意したりして解決した。 ●問題があってもお互い嫌な思いをしないで仲良く過ごせた。 ●韓国人の学生に絡まれて大変だったことがあったが、元交換留学生のヤンさんが助けてくれた。 ●洗剤が1個分のお金で無限に取れたり、顔認証が効かなかったりしましたが、たいてい職員の人に言えば解決してくれた。
5 その他（任意）
●特になし
6 現地の人と交流して気づいた異なる習慣はありますか？異文化コミュニケーション・カルチャーショックを教えてください。
●道端にたばこの吸い殻を捨てる。道に唾を吐く。値段を数字だけで表示。ご飯を食べ残す。 ●車の運転がせっかち、クラクションを鳴らす理由が「私ここにいます」という意思表示だから怒っているわけではないので怖がらなくていいと教えてもらった（韓国人の友達に聞いたが、皆同じ考えかどうかはわからない）。 ●韓国はキャッシュレス化が進んでいるので現金が使えないことがほとんどだった。支払方法が振込や韓国での口座がないと使えないキャッシュレスアプリのみだったり、予約する際に予約金が振込で必要だったので困った。 ●店員は仕事がないと携帯をいじっているか踊っていた。 ●韓国では、1品頼んで終わりではなく、2,3品頼む。食べ放題みたいに食べ終わったら次の品を頼んで、を繰り返していた。 ●変わった日本語が向こうの人には好まれるようです。ミームの日本語などはかなり人気です。 ●バリバリ文化なので何をするにも急いでいる。
7 留学プログラムに参加して、身に着けることのできた知識やスキルはどんなものですか？
●韓国の生活はインターネットで見たり韓国人から聞いたこととほぼ同じだったが、直接経験してもっと理解を深めることができた。 ●韓国語力、人間関係（人との関わり方）、自分で考えて動くこと。 ●韓国公共交通機関の乗り方や料理屋でのルールや買い物で使う簡単な会話など生活する上で韓国では当たり前のこと。 ●普段は実家暮らしなので自分のことを自分でしなければいけないので大変だったが、それなりにできるようになった。 ●時間の使い方については日本にいるときに比べて上手になった。 ●韓国語の能力はもちろん、旅行の企画実行を通して企画力が上がった。旅程を詰める癖があったが今回はうまく活用できた。 ●韓国語を使って日常生活を送ることができ、コミュニケーション能力が向上した。

8 留学プログラムを通してどんなことを学びとりましたか？

- 言語にさほど問題がない為か、思ったより私は海外にうまく適応できた。
- 国が違っても常識は同じ。
- また韓国人の優しさにとても感動し自分も広島に来た留学生ともしっかり関わり楽しく充実した生活が送れるようにしたいと思った。
- 韓国は日本と違ってルールが緩く自由なことが多いと感じた。好きなことを好きなようにしながら学べるのでとても楽しかった。
- 資格のためではなく、話せるという観点での語学力を身につけるにはやはり現地の人といるのがいいと実感した。
- 今回の留学では日本人とほとんど行動していたため韓国語を使う機会が大幅に減ってしまったように感じた。
- 語学の上達という面では、シンガポールの方が常に現地学生がついていてくれて英語の上達がより感じられたと思いました。
- 日本との文化、人間性の違いを理解し韓国という国について留学を通してより身近に感じた。

9 プログラムに参加して、自分に足りないと感じた知識やスキル等、学生が準備しておくよりよいことを教えて下さい。

- 何にお金を使うかわかり管理すること。
- 去年留学に来ていた韓国人の友達に久しぶりに会った時、あまり日本語を話せなくなっていたから自分が韓国語で話さなければならなかったのに、会話力が無く言いたい事があまり話せなかった。練習しておけばよかった。
- 調理ができないのでグラノーラやスープ、紙コップや紙皿など現地で買う手間やお金が省けるようにしておけばよかった。タオルも持っていくべきだった。衣類は現地で安く買えるので上下 2 着ずつ持って行ったが十分だった。
- 現地の方はとても早口なので聞き取れないことが多かった。もう少し買い物で使う言葉や単語について勉強しておくべきだった。
- 韓国語の勉強は行く前に終わらせるくらいの心づもりで勉強しておくべきだった。今回の留学で 2 回目の人が何人かいてなんで 2 回来るのかと最初は思っていたが終わった今もう一度行くのは有効な手段だと思った。クラスが能力別で別れているので 2 回目でもさらに成長できるようになっていた。
- 自由時間がかなり多いので、行きたい場所を事前に用意しておくのは留学を有意義に過ごすのに有効だ。
- 韓国語は簡単な単語だけでも学んでおくとよい。それだけでも買い物や観光するのに役立つ。

10 制度 ● 通学 ● 学費 ● 生活費 ● 観光などで次の学生に勧めてあげられるものはありますか？

- たくさんいろいろなところを観光したいが体調を崩さない程度に計画を立てるといい。
- 朝早く時間がないためスープは持って行った方がよい。
- 韓国人の友達に日本からのお土産をもっていったらいいと思う。現地で友達になる可能性もあるため。
- 授業料や寮費の負担がない分、勉強をしながら好きなことにお金を使える余裕が生まれる。
- 大邱は日本語があまり通じないので韓国語を実際に使えてとてもいい。逆にソウルは日本語がほとんどの場所で使えて、韓国語を使う機会が少なかったのであまり勉強にはならなかった。
- キャッシュレスが進んでいるから日本では体験できないことができる。
- 必要なものは大抵現地で調達できるので体質的な問題がないなら準備はほどほどで大丈夫。
- 韓国語を上達させたいならいろいろなお店に行って店員さんと話すことは重要。特に市場での会話は、とても勉強になった。訛りや略語、スラングなど教科書には載っていない知識の宝庫だった。
- 韓国語の授業はレベル分けされるので全く喋れなくても大丈夫で、授業の先生も丁寧に教えてくれた。

11 プログラムを修了し、帰国後はどんな学生生活の計画を立てていますか？卒業後の計画も踏まえて書いて下さい。

- 卒業を伸ばして海外留学をすること、大邱大学が大邱市内から離れていて寮のルールも厳しいので半年以上の留学をするかは悩むが、また短期留学の機会があればまた行きたい。また、卒業したら日本を出るのも悪くないと思った。
- 短期留学の経験を生かして次は長期留学に行きたい。そのために韓国語の資格(TOPIK)を取り、将来はこの経験と実力を仕事で生かせるようになりたい。留学や韓国語だけを頑張るのではなくて大学での今の成績を維持しながら時間も上手に使ってうまく両立したい。
- 帰国後の学生生活としては、語学の勉強は続けるが大きな変化はない。卒業後は広島か地元の愛媛に就職検討。韓国語の勉強を引き続き頑張り、TOPIKの試験受けたいと思う。

12 その他、プログラムへの要望 ● 意見がありましたら記入下さい。

- 郷村文化館に行き韓国や大邱の歴史を見た。日本とは違う雰囲気新鮮でとても興味深かった。お昼にドンソン路駅周辺で日本料理屋さんに行きました。私は親子丼を食べました。日本の親子丼とは味も見た目も大きく違って値段も高く、その国の食べ物はその国で食べるべきだと感じた。
- もっと留学生とかかわっていききたい。また留学をするか、旅行で韓国語を学びたい。